令和３年度　学校評価計画書

石川県立志賀高等学校

重点目標	具体的取組	主担当	現状	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
1 学力の向上 魅力ある教材及び指導法の工夫等により、学ぶ意欲を高め、基礎学力の向上を図る。 【「わかる授業」の実践、GIGA スクール構想実現】	・授業の工夫、改善のため、ICT の効果的な活用に取り組み、生徒の学習意欲を高める。	教務課	授業改善により工夫を凝らした授業実践（ICT を活用等）が定着しつつあり、学習意欲が高まったと答える生徒の割合が 81%である。	【努力指標】 基礎学力の向上を図るため、工夫を凝らした授業実践（ICT の活用等）により、生徒の学習意欲を喚起する。	「ICT 機器の活用や、授業中の学び合いによって、学習意欲が高まった。」と答える生徒の割合が Ａ：80%以上である。 Ｂ：70%以上～80%未満である。 Ｃ：60%以上～70%未満である。 Ｄ：60%未満である。	ＣＤは具体的な改善策を検討する。	生徒アンケート（7 月・12 月）を実施
	・生徒の実状や進路希望に応じた家庭学習課題を課す。 ・生徒指導課や進路指導課との連携を深め、学習時間の確保に努める。		学習意欲の高まりが家庭学習時間の増加につながり、家庭学習時間の平均が１時間以上であった生徒の割合は 84%である。	【成果指標】 「わかる授業」と適切な質・量の課題により、家庭学習に自主的に取組み、学習時間が増加する。	家庭学習時間調査の集計結果による、１日平均学習時間１時間以上の生徒の割合が Ａ：80%以上である。 Ｂ：60%以上～80%未満である。 Ｃ：40%以上～60%未満である。 Ｄ：40%未満である。	ＣＤは具体的な改善策を検討する。	学習時間調査（6 月・11 月）を実施
2 進路の実現 進学意欲の高揚やキャリア教育を充実するとともに、個に応じた指導を充実させ、進路実現を図る。 【「社会人講座」による進路指導の充実】	①・進路説明会、社会人講座や企業見学会等により、進学や就職に対する意欲や必要な態度を身につける。	進路指導課	説明会等が参考になった生徒が 89%いたものの、年度当初において自己の進路についての意識が低く、進路未定者が若干名いる。	【満足度指標】 生徒は進路説明会や講座等を進路決定のために参考にしている。	「進路説明会、社会人講座、各種マナー講座や企業見学会等が進路決定のための参考になった。」と答える生徒の割合が Ａ：80%以上である。 Ｂ：70%以上～80%未満である。 Ｃ：60%以上～70%未満である。 Ｄ：60%未満である。	ＣＤは具体的な改善策を検討する。	生徒アンケート（7 月・12 月）を実施
	②・保護者や関係機関と連携を深め、個に応じた進路指導の充実を図る。	進路指導課	基礎学力や理解力の違いがあるものの、79%の保護者が情報提供に満足され、適切な時期に適切な内容の進路情報が提供できていた。	【満足度指標】 保護者に進路について必要な情報が必要な時期に提供されている。	「学校が提供した個別の進路情報に対して満足している。」と答える保護者の割合が Ａ：80%以上である。 Ｂ：70%以上～80%未満である。 Ｃ：60%以上～70%未満である。 Ｄ：60%未満である。	ＣＤは具体的な改善策を検討する。	保護者アンケート（7 月・12 月）を実施
3 基本的生活習慣の確立 心の教育を実践するとともに、基本的生活習慣の確立や規範意識の高揚を図る。 【「心を育て、心を繋げる生徒指導」4 つの「挨拶運動・読書・制服を美しく着る・ボランティア」週間の実施】	①・いじめアンケートを年３回実施するとともに、生徒全員に面談をする。	生徒課	個人面談の継続した実施等により、いじめに対する学校の毅然とした取組に対して 96%の生徒は理解している。	【満足度指標】 生徒が学校はいじめに対しての取組をしっかり行っているととらえている。	「学校はいじめに対しての取組をしっかり行っている。」と答える生徒の割合が Ａ：80%以上である。 Ｂ：70%以上～80%未満である。 Ｃ：60%以上～70%未満である。 Ｄ：60%未満である。	ＣＤは具体的な改善策を検討する。	生徒アンケート（7 月・12 月）を実施
	②・保護者と連携を図り、生徒自らも家庭での携帯電話・スマートフォンの使用のルールづくりに取り組む。		家庭生活で携帯電話等の使用のルールが守られているとした保護者は 59%であり、継続的に啓発していく。	【努力指標】 保護者が家庭内ルールづくりと子どもに遵守させることに努め、携帯電話・スマートフォン使用の規範意識を高める。	「家庭において、携帯電話・スマートフォン使用のルールが守られている。」と答える保護者の割合が Ａ：60%以上である。 Ｂ：50%以上～60%未満である Ｃ：40%以上～50%未満である。 Ｄ：40%未満である。	ＣＤは具体的な改善策を検討する。	保護者アンケート（7 月・12 月）を実施
	③・毎日登校指導をするとともに、全教員、生徒会、ＰＴＡと連携した挨拶運動週間を設定する。 ・授業規律としての挨拶指導をする。		教職員の 71%は生徒がしっかり挨拶をしているととらえている。さらに教職員が率先垂範して啓発普及に努める必要がある。	【成果指標】 登校や授業等において挨拶をしっかりする生徒が増加する。	「生徒は挨拶がしっかりできている。」と答える教職員の割合が Ａ：60%以上である。 Ｂ：50%以上～60%未満である。 Ｃ：40%以上～50%未満である。 Ｄ：40%未満である。	ＣＤは具体的な改善策を検討する。	教職員アンケート（7 月・12 月）に実施

令和３年度　学校評価計画書

石川県立志賀高等学校

重点目標		具体的取組		主　担　当	現状	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
4		④	・日常的な教室の点検や保健委員による定期的な美化活動や環境衛生に努め、整理整頓の習慣化を図るために、机ロッカーすっきり週間を設定する。	保健相談課	生徒の 91％が整理整頓を心がけているものの、自主的・主体的な実践ができない生徒がまだ多い。新型コロナウイルス感染症対策等を徹底する。	【成果指標】 教室や身のまわりの整理整頓、健康で安全な生活を送る行動を自主的に実践する生徒が増加する。	「教室や身のまわりの整理整頓を自主的に実践し、健康で安全に生活しようと努力をしている。」と答える生徒の割合が Ａ：80％以上である。 Ｂ：70％以上～80％未満である。 Ｃ：60％以上～70％未満である。 Ｄ：60％未満である。	ＣＤは具体的な改善策を検討する。	生徒アンケート（7 月・12 月）を実施
	地域との連携 地域との連携や情報発信に努め、地域から愛され信頼される学校づくりを推進する。 【「県指定産学連携事業」「町福祉施設等」との連携】	①	・ホームページの充実や志賀高便り等の配付物による情報発信の強化を図る。	総　務　課	本校の教育活動を理解されている保護者は 78％であり、一層強化に努める。	【成果指標】 学校の様子を外部に積極的に発信する。	「ホームページや志賀高便り等の情報発信が積極的に実施され、学校の取組がよく分かり、本校の教育活動が理解できた。」と答える保護者の割合が Ａ：80％以上である。 Ｂ：70％以上～80％未満である。 Ｃ：60％以上～70％未満である。 Ｄ：60％未満である。	ＣＤは具体的な改善策を検討する。	保護者アンケート（7 月・12 月）を実施
		②	・関係機関等と連携した教育活動を充実させる。	総　務　課	地域住民としての地域活動や PTA 活動に積極的に参加している教職員は 24％である現状を踏まえ、教職員が学校経営の一員として当事者意識を持つ。	【努力指標】 地域・保護者と連携し、地域から信頼される学校づくりに積極的に取り組んでいる。	教職員の地域交流への関心が高まり、地域に支えられている学校づくりに、 Ａ：積極的に取り組んでいる。 Ｂ：取り組んでいる。 Ｃ：あまり取り組んでいない。 Ｄ：取り組んでいない。	ＡＢの合計が 80％未満の場合､改善策を検討する。	教職員アンケート（7 月・12 月）に実施
5	教職員多忙改善 時間管理を意識し、業務分担と協力体制により､業務の効率化を図る。 【教職員一人一人が主体的･有機的に「繋げる」】	①	・教職員の働き方を更に見直し、担当業務に対してタイムマネジメントを徹底し、業務の平準化に取り組み、時間外勤務の縮減を図る。	教　　頭	本校教職員の超過勤務時間は県の平均レベルではあるものの、特定の個人の超過勤務が課題である。 業務の平準化やタイムマネジメントを図りたい。	【成果指標】 担当業務に対する、見通しを持ち、タイムマネジメントを意識して、時間外勤務の縮減を図る。	「タイムマネジメントを意識し、業務に見通しを持って取り組み、超過勤務の縮減が達成できた。」と考える度合いが Ａ：十分達成できた。〈前年比月－15h 超〉 Ｂ：概ね達成できた。〈同比－5～15〉 Ｃ：変わらない〈同比 0～－5〉 Ｄ：達成できなかった。〈同比贈加〉	ＣＤの合計が 50％は具体的な改善策を検討する。	教職員アンケート（7 月・12 月）に実施
						【努力指標】 各課・学年主任が時間管理や業務の平準化に積極的に取り組んでいる。	各課・学年主任が分掌業務の平準化に、 Ａ：積極的に取り組めた。 Ｂ：取り組めた。 Ｃ：あまり取り組めなかった。 Ｄ：ほとんど取り組めなかった。	ＡＢの合計が 80％未満の場合､改善策を検討する。	教職員アンケート（各課・学年主任対象）（7 月・12 月）に実施